

平成22年度 学校経営計画(年度末評価)

〈2/15現在〉

広島市立中野東小学校

学校教育目標

人間尊重の精神に満ち よく考えて たくましく実践する 心情豊かな子どもの育成

(めざす子ども像)

ひろい心で助け合う子ども が んばり強く元気な子ども  
し ごとを進んでする子ども

目指す学校像(ビジョン)

- (1) 個に応ずる指導を通して、基礎学力の定着を図る学校
- (2) 体験活動等を重視した豊かな心を育てる学校
- (3) 健康に目を向け、より豊かな生活を希求する子を育てる学校
- (4) 保護者・地域に信頼される学校

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				努力指標	成果指標
基礎学力の向上	授業展開の工夫・改善をし、分かりやすく意欲のわく授業づくりを行うとともに、基礎・基本の確実な定着を図る。	家庭学習の習慣化が定着しておらず、また学力調査においては、基礎・基本の定着が十分図れていないことから、家庭学習の習慣化を促しながら、基礎学力の向上を図る。 また、本校の研究主題と関連させ、表現力(話す力)を育成する取り組みを日々計画的に行う。  ※「ほことりタイム」「読書タイム」はこれまで通り、計画的に実施する。	定期的に、年3回(6・9・11月)本校独自の「家庭学習ふりかえりカード」を作成・活用することにより、保護者との連携を進め、家庭学習の習慣化を図る。  ※ 年3回→1回につき2週間継続して実施する。	④ 全学級が計画通り、「家庭学習ふりかえりカード」を実施した。	4 家庭学習の時間が増えた児童が70%以上 ※児童 (and 保護者) アンケート (カード)
				3 90%以上の学級が計画通り、「家庭学習ふりかえりカード」を実施した。	③ 家庭学習の時間が増えた児童が60%以上 ※児童 (and 保護者) アンケート (カード)
				2 70%以上の学級が計画通り、「家庭学習ふりかえりカード」を実施した。	2 家庭学習の時間が増えた児童が50%以上 ※児童 (and 保護者) アンケート (カード)
				1 70%未満の学級が計画通り、「家庭学習ふりかえりカード」を実施した。	1 家庭学習の時間が増えた児童が50%未満 ※児童 (and 保護者) アンケート (カード)
				④ 全学級が計画通り、「お話タイム(スピーチタイム)」を実施した。	4 人の前で話す力が伸びてきたと思う児童が70%以上 ※児童アンケート (教師の評価)
				3 90%以上の学級が計画通り、「お話タイム(スピーチタイム)」を実施した。	③ 人の前で話す力が伸びてきたと思う児童が60%以上 ※児童アンケート (教師の評価)
				2 70%以上の学級が計画通り、「お話タイム(スピーチタイム)」を実施した。	2 人の前で話す力が伸びてきたと思う児童が50%以上 ※児童アンケート (教師の評価)
				1 70%未満の学級が計画通り、「お話タイム(スピーチタイム)」を実施した。	1 人の前で話す力が伸びてきたと思う児童が50%未満 ※児童アンケート (教師の評価)
				※ お話タイム(スピーチタイム) →各学級で週当たり4/5回のペースで行う。	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準			
				努力指標	成果指標		
豊かな心の育成	社会性や道徳性を育み、豊かな心の育成を図る。	あいさつやそうじの仕方に課題がある。自主的にあいさつやそうじができる児童を育成する。 また、縦割りグループでの活動を仕組み、望ましい人間関係づくりを図る。	あいさつ運動に毎月取り組む。	④	全学級が計画通り、「あいさつ当番」を作り、目標を立てて取り組んだ。	4	進んであいさつをする児童が80%以上 ※生活チェックカード
				3	90%以上の学級が計画通り、「あいさつ当番」を作り、目標を立てて取り組んだ。	3	進んであいさつをする児童が70%以上 ※生活チェックカード
				2	70%以上の学級が計画通り、「あいさつ当番」を作り、目標を立てて取り組んだ。	2	進んであいさつをする児童が60%以上 ※生活チェックカード
				1	70%未満の学級が計画通り、「あいさつ当番」を作り、目標を立てて取り組んだ。	①	進んであいさつをする児童が60%未満 ※生活チェックカード
			縦割りグループで毎月1回(年9回)外遊び(東っ子タイム)を行う。  ※ 体力の向上とリンク	④	計画通り、年9回縦割りグループで外遊びを実施した。(雨天の場合は除く。)	4	東っ子タイムで楽しく遊ぶことができたと感じる児童が80%以上 ※児童アンケート
				3	年8回、縦割りグループで外遊びを実施した。(雨天の場合は除く。)	3	東っ子タイムで楽しく遊ぶことができたと感じる児童が70%以上 ※児童アンケート
				2	年7回、縦割りグループで外遊びを実施した。(雨天の場合は除く。)	②	東っ子タイムで楽しく遊ぶことができたと感じる児童が60%以上 ※児童アンケート
				1	年6回、縦割りグループで外遊びを実施した。(雨天の場合は除く。)	1	東っ子タイムで楽しく遊ぶことができたと感じる児童が60%未満 ※児童アンケート
			そうじの仕方を明確にして、生活チェックカードで振り返りをさせながら、進める。	④	全学級の担任が、そうじ場所に依じた指導を毎日行った。	4	時間いっぱい進んでそうじをする児童が80%以上 ※生活チェックカード
				3	90%以上の学級の担任が、そうじ場所に依じた指導を毎日行った。	3	時間いっぱい進んでそうじをする児童が70%以上 ※生活チェックカード
				2	70%以上の学級の担任が、そうじ場所に依じた指導を毎日行った。	2	時間いっぱい進んでそうじをする児童が60%以上 ※生活チェックカード
				1	70%未満の学級の担任が、そうじ場所に依じた指導を毎日行った。	①	時間いっぱい進んでそうじをする児童が60%未満 ※生活チェックカード

※「生活チェックカード」→チェックカードの◎が週3つ以上の児童の割合で集計する。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				努力指標	成果指標
体力の向上	基本的な生活習慣の定着を図り、児童の健康・体力づくりを推進する。	基本的な生活習慣の定着や、外遊びへの積極的な参加が課題であることから、自分の生活を振り返らせたり、継続的な運動を促したりすることにより、生活習慣の確立や体力の向上を推進する。	児童の生活状況を把握（健康チェックカード）し、保護者にも知らせ、課題に応じた指導を継続的に行う。  ※ 「継続的」→健康チェックカードは4・9・2月に実施するため、「継続的な指導」とは、年間3回以上の指導とする。	④ 全学級が課題に応じた指導を継続的に行った。	4 健康的な生活を送るように意識付いた児童が80%以上 ※健康チェックカード
			3 90%以上の学級が課題に応じた指導を継続的に行った。	③ 健康的な生活を送るように意識付いた児童が70%以上 ※健康チェックカード	
			2 70%以上の学級が課題に応じた指導を継続的に行った。	2 健康的な生活を送るように意識付いた児童が60%以上 ※健康チェックカード	
			1 70%未満の学級が課題に応じた指導を継続的に行った。	1 健康的な生活を送るように意識付いた児童が60%未満 ※健康チェックカード	
			4 全学級が課題に対して、継続的に体育の授業（準備運動等）の中で取り組んだ。	4 1月または2月の測定値が6月の測定値より伸びた児童が80%以上	
			③ 90%以上の学級が課題に対して、継続的に体育の授業（準備運動等）の中で取り組んだ。	3 1月または2月の測定値が6月の測定値より伸びた児童が70%以上	
			2 70%以上の学級が課題に対して、継続的に体育の授業（準備運動等）の中で取り組んだ。	2 1月または2月の測定値が6月の測定値より伸びた児童が60%以上	
			1 70%未満の学級が課題に対して、継続的に体育の授業（準備運動等）の中で取り組んだ。	① 1月または2月の測定値が6月の測定値より伸びた児童が60%未満	
			4 全学級が外遊びを奨励し、運動の習慣づけを行った。 ※主にクラス遊びを評価	4 よく外遊びをしている（した）と答える児童が80%以上 ※児童アンケート or 健康チェックカード	
			3 90%以上の学級が外遊びを奨励し、運動の習慣づけを行った。 ※主にクラス遊びを評価	3 よく外遊びをしている（した）と答える児童が70%以上 ※児童アンケート or 健康チェックカード	
			② 70%以上の学級が外遊びを奨励し、運動の習慣づけを行った。 ※主にクラス遊びを評価	② よく外遊びをしている（した）と答える児童が60%以上 ※児童アンケート or 健康チェックカード	
			1 70%未満の学級が外遊びを奨励し、運動の習慣づけを行った。 ※主にクラス遊びを評価	1 よく外遊びをしている（した）と答える児童が60%未満 ※児童アンケート or 健康チェックカード	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準			
				努力指標	成果指標		
信頼される学校	学校における教育活動の情報を積極的に発信し、また保護者・地域等の力を生かした学習の充実を図り、保護者・地域に信頼される学校づくりを推進する。	地域には、保護者も含め、ボランティア意識の高い方がいる。こうした方を含め、広く外部人材を積極的に活用することが教育活動の活性化にとって必要であり、そのことが信頼される学校づくりにつながっていくと考える。これら外部人材を積極的に学習活動等に活用しながら、地域に根ざした開かれた学校づくりを進める。	外部人材（保護者含む）の積極的活用を行い、学習活動等に生かす。  （※学校だより、学年だより、保健だより、給食だより等はこれまで通り、計画的に保護者等に配付する。）	④	外部人材（保護者を含む）を年間延べ130人以上活用する。	④	外部人材を活用した学習は、楽しく学習できたと思う児童が80%以上 ※児童アンケート
				3	外部人材（保護者を含む）を年間延べ120人以上活用する。	3	外部人材を活用した学習は、楽しく学習できたと思う児童が70%以上 ※児童アンケート
				2	外部人材（保護者を含む）を年間延べ110人以上活用する。	2	外部人材を活用した学習は、楽しく学習できたと思う児童が60%以上 ※児童アンケート
				1	外部人材（保護者を含む）を年間延べ100人以上活用する。	1	外部人材を活用した学習は、楽しく学習できたと思う児童が60%未満 ※児童アンケート

※2/15現在で195人